

MAEBASHI 2018▶2019 WEEKLY REPORT

インスピレーションになろう
Be the Inspiration



2018.9.18 (火)
第3105回 例会報告

例会日…火曜日(12:10)～群馬銀行本店
(第1回 昭和28年9月8日創立)

会長…宮崎 瑞穂 幹事…温井 尚久
クラブ会報委員長…江原 友樹 編集者…藏勢 敏之

ホームページ URL <http://www.maebashi-rc.jp/>
電子メールアドレス office@maebashi-rc.gr.jp
maebashi@rid2840.jp

点鐘 宮崎会長

ロータリーソング 「我等の生業」

司会 伊藤副幹事

会長報告 宮崎会長

まず会長報告です。

9月4日の例会後VTTの打ち合わせがありました。VTTについてはいよいよ今月30日にモンゴルから聴覚障害者の教育に携わっている教員9名が成田に着いて、4週間の群大による教育が開始されますが、その人達の成田への送迎や期間中のいろいろな所への訪問や観光について、RCでお世話をするというか、もてなすわけですが具体的な方法や参加者の名前などを確定する打ち合わせでした。この9名やその後訪日されるモンゴルのセルベRCのオイドブさんや会長、幹事、会員18名が65周年記念例会に出席していただきますので、その時に皆さんに紹介できると思います。



会長の時間 宮崎会長

次に会長の時間です。今日は少し時間がありますので私の専門領域の話をさせて頂きます。

日赤の新病院には職場訪問として引っ越し前に多数の方に内覧していただき有り難うございました。その時にサイバーナイフを一つの新病院の目玉として紹介いたしました。これに関連して脳外科の中でも定位脳手術という技術についてお話しします。定位脳手術というのは脳に座標を当てはめて精密に部分的に治療する技術です。近代脳神経外科の初め頃からこの考え方はある、幾つかのフレームが使われました。日本でも植林先生などが有名で私も直接に教えて頂いたりしましたが、世界的に有名なフレームの一つにレクセルのフレームがあり群大でもこれを用いていました。これは要するに立方体のフレームを頭蓋骨に固定し、今はCTを用い、昔は脳室という脳の中にある空間に空

気を入れて脳の形を計測します。脳の働きにはどの位置にどんな構造があり、どんな機能を持っているかが精密に分かっています。それで頭蓋骨に穴を開けて正確に針を進めそこを破壊し、刺激電極を埋め込んで脳を刺激することで脳のその部分の働きを変えます。具体的にはパーキンソン病などの振戦や筋強剛、舞蹈病などの不随意運動、強い痛みなどが主な対象になります。これは脳の機能を改善することになるので機能的脳外科と言います。通常の脳手術は機能の改善を期待するというより出血していれば血を抜き、脳腫瘍があればこれを取り除くなどでどちらかといえば形を戻して生命を維持するものです。

私も脳外科に入局して、当時は助教授でその後教授になった先生に指示してこの手術を行いました。その後レクセルは頭蓋骨に穴を開けないでも一部分を壊す方法として放射線を用いて手術する装置を作りました。これがガンマナイフというもので200本ぐらいの非常に細いガンマ線を頭の全方向から一点に集中して脳の一部を焼き切る方法です。これによって血を見ないでも手術が可能となりました。しかし局所的とはいえ脳を焼き切るような強い放射線をかけるわけですから位置を間違えると大変なことになります。それで従来の放射線治療とは異なった概念で放射線とはいえないナイフという言葉が使われ、治療も方放射線科医というより脳の局所的な構造に詳しい脳神経外科医が担当しました。

しかしその後この方法を他の疾患に治療にも使われるようになりました。生まれつきの脳血管の奇形で、出血や痙攣を起こす脳動静脈奇形もその一つですが、直径2.5から3cm以下の小さなものが対象で、照射後1年ぐらいで消えてきます。それから頭蓋底などで手術の難しい場所の聴神経腫瘍などの腫瘍や三叉神経痛にも用いられています。又がんの脳転移は手術もしにくいのでこの治療が有用で今は治療例の1/2は転移

性の腫瘍になっています。

現在この装置は世界315台くらいうち54台が日本です。国に1台しかない国もありますが日本は恵まれています。群馬県にも2台有ります。日本は技術よりも装置に報酬を出す傾向があって、これが経営上有利だったもので多くの民間病院に入りました。私も30年くらい前に手術しにくい場所に合った脳動静脈奇形の患者さんにこの装置を使いたかったのですが当時日本にはこの装置ありませんでした。サンパウロや確かに有りませんがマニラに1台ありました、結局アメリカのピッツバーグにまで患者さんを連れて放射線を掛けにいきました。昔ピッツバーグの町は鉄鋼で栄えた町でしたが、当時はアメリカの鉄鋼業は衰え一時は廃れた町になったようですが、その後ピッツバーグはピッツバーグ大学を中心に医療に力を入れ全米から患者さんを集め、アメリカの最も魅力的な町に選ばれたといっていました。その時に当時から前橋は特に商業や交通で高崎に遅れをとっているような印象が有り、前橋の強みを考えたときに県庁や群馬大学が有り、又大きな病院も多いので将来にわたって関心の高い教育と医療をもっと押し出して町作りを進めたら良いのではないかと思い、帰ってからいろいろな方に申し上げたことがあります。

又ガンマナイフですが私も帰ってからこの装置が欲しいと思い当時の院長に話を出しましたが、当時世界に十数台しか無かった装置なので高額でも有り、何を夢みたいなことを言っていると全く相手にされませんでした。政治家でも引き込まないと駄目かだらうと思いましたが、私にそれだけの情熱が無くそのままになりました。その後、今度は日本に普及しすぎるほどに普及したわけです。今は採算がとれていない装置も多いかもしれません。

その後も同様な装置、技術が進歩し、サイバーナイフも出来ました。サイバーナイフは0.5ミリの精度で精密な照射が可能ですが、特徴は患者さんの位置を正確に測定できるようになったことから、ガンマナイフのように全く動かない時にしか掛けられないということは無く、肺がんのように動く患者さんでもその位置を測定し補正しつつ掛けることが可能になりました。ガンマナイフも保険収載され診療報酬が下げられたのでこれ以上は増えることは無く、サイバーナイフなどが増えて行くかもしれません。

というわけで当初機能的脳外科の低位脳手術装置として作られたものが、一般の脳外科の治療にも用いられるようになったということです。定位脳手術はパーキンソン氏病でiPS細胞を用いた手術などでも用いられるでしょう。

以上会長の時間です。

幹事報告 溫井幹事

1、次回9月25日の例会は外部卓話です。講師は日本赤十字社群馬県支部徳安事務局長です。場所は群馬ロイヤルホテルです。



2、本日、例会終了後、本例会場で創立65周年第5回実行委員会を開催します。

3、本日、18:30より前橋6ロータリークラブ親善ゴルフ大会第2回幹事会を前橋テルサにて行います。

副幹事報告

例会変更：前橋西RC、前橋東RC、前橋北RC、前橋南RC、前橋中央RC、伊勢崎東RC、伊勢崎南RC、沼田RC

出席報告 出席委員会

会員数：122名

出席者 82名
欠席者 40名

本日出席率：70.69%

前々回訂正：76.07%



ニコニコBOX報告

■菊川 善明…還暦祝いのお花をいただきありがとうございました。しかしこの年になると時間がたつののが速いですね。この間、年が明けたと思ったら、もう9月。この間、生まれたと思ったら、もう還暦ですよ！

■岡山 和裕…結婚記念日のお花、ありがとうございました。妻からは「あなたからは何もないの？」と言われました(笑)。

■柘植信一郎…9月12日の結婚記念日にきれいな花束を頂きまして、ありがとうございました。我家のリビングは百合の香りで一杯です。本当にありがとうございました。



新会員卓話 (株)JTB 安藤 智



※クラブ会報は会員の敬称は略させて頂きます